

道東地区教会連合会機関誌



道東 こ う ほ う 光 報



'DÔTÔUKÔHÔ', Journal of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.16 Apr.,2006

巻頭言

いのちの育み

帯広教会 田中敬一

先日の新聞（〇六年三月二七日付 読売新聞）に次のようなことが掲載されていました。少し長いですが紹介しましょう。

『小さな生き物が外敵から身を守るには、隠れる、逃げる、毒を持つなどさまざまな方法があるが、北海道などに生息するエゾアカガエルのおタマジャクシは、頭の部分を約二倍の体積に膨らませ、捕食者のエゾサンショウウオに丸のみされないよう防御していることが、北海道大学の西村欣也助教授（行動生態学）らの研究でわかった。

エゾアカガエルとエゾサンショウウオは、ともに雪解けのころ水たまりに卵塊を産む。そのため、オタマジャクシはサンショウウオの幼生と一緒に暮らさねばならないこ

とが多い。

このような状況を実験的に再現したところ、オタマジャクシは動きを減らして目立たないようにするだけでなく、三〜七日の間に、表面の皮膚を膨らませて頭胴部の体積を約二倍にすることが確認できた。

サンショウウオを取り除くと、頭胴部の大きさは元に戻った。孵化の時期がずれ、オタマジャクシがサンショウウオに比べ十分に大きいときは、一緒にしても頭胴部はあまり大きくならなかった。

一方、捕食者のエゾサンショウウオの幼生も、オタマジャクシを捕まえやすいよう、あごを大きく発達させた。さらに、オタマジャクシもサンショウウオも捕食するオオリボシヤンマのヤゴと一緒にすると、今度はともにヤゴから逃げるため尾びれが大きくなり、頭胴部やあごはあまり大きくならなかった。』

今、これを読まれてどのよう

珍しい内容とか、一般的には保護色（生息する周囲の環境の色彩にわけこんだ動物の体色のこと）などを連想されたと思います。

私はそれに生命の力強さ、生きる力を感じさせられました。動物の本能として簡単にかたづけられないように思います。動物たちが生きていく上に必要な大きな働きまたは天地の働きを感じさせるところがあると思います。人間にはこのような生命の営みがまだまだ分からないところがたくさんあります。

教祖のご理解に

「天と地の間に人間がいる。天は父、地は母である。人間、また草木など、みな天の恵みを受けて、地上に生きているのである。」

「鳥や獣がどのようにして生きていくかを考えてみても、神のお恵みがわかる。冬になつたといつて重ね着をするでもなく、夏になつても一枚も脱ぐことはない。神はそれでちゃんとさしつかえないように育てておられる。牛など

が子を産んでも、別に親が暖めてやることもないが、それでも大きくなる。木にしても、はじめは目にも見えないような双葉であるが、だれが育てるといふこともないのに、大木になって世のためになる。人はみなその恩を受けている。このようなことを考えてみても、神のありがたいことがわかる。みなよく物の道理を知って信心しなければならぬ。」

私たちは動物などの生き物を自由に食べたりしています。が、このご理解のように、天地は人間をはじめ草木など一切の生命あるものを育てはぐくみ、また人間の営みは、全ての動植物など天地の働きそして恵みによって成り立っています。教祖様はこの天地の働き、恵みを神と感じ、天地金乃神様と呼ばれました。改めてこの働きと恵みにお礼を申し上げたいと思います。その神様、天地金乃神様のご大祭が各教会で仕えられます。

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―二三―六八三五
FAX 〇一五五―三三―六八三五

新しい命が今年三月に誕生しました。有難いことであります。それは次男夫婦が昨年来より祈りに祈り続けた新しい命、女の子の誕生であります。私たち夫婦にとって初孫であり、教会長にとつては初ひ孫であります。少しずつありますが、日一日と成長していくのが分かります。自分の子供の時に経験したはずなのですが、誰が教えるとはなく神様の働きによって自然と乳を飲みます。次男夫婦には前教主の歌「ちははも子どもとともに生まれたり育たねばならぬ子もちははも」と教えました。私たち祖父祖母も同様に育って行かねばと願っています。孫の成長と信奉者のそれぞれの立ち行きを願いつつ春のご大祭を仕えたいと思います。

帯広教会ご大祭は四月二三日
午前十一時三〇分です。
(田中)

滝上教会

紋別郡滝上町元町士別通り

昨春秋の「生神金光大神大祭」の時、教会長を代わって頂きたいと北見の矢代先生と網走の菊川先生を伴って、漸くに滝上に行き滝上教会の大祭を仕え、教会長交代の話を信奉者にした。はやく教会長交代の書類を出せばいいのだが、まだ出ていない。

滝上教会の信奉者も、だんだんと古い方が帰幽されて細かい想いを出している時だけに、元気を出して神様に心に向けて頂きたいが、書類が遅れていること、ただただ申し訳ない。

この春の「天地金乃神大祭」から、北見の矢代先生が奉仕くださることになっている。

(江郷)

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七―二四―七四七四
FAX 〇一五七―二四―七四七四

三月上旬頃、今年は春の訪れが早いかもしれない思っていたが、その後は毎日のように雪が降り、寒い日が続いています。それでも日中になれば曇つていても雪解けは進む。今日この頃、やはり春ですね。

当教会は、今年布教九十年の年に当たり、昨年より奉賛会長を中心に準備をさせていただいております。その中で不思議に思うことがあります。それは、奉賛会はなんとかご用されるのに日頃の参拝が少ないのは何故なのか。また、このようなことを思っているのは自分だけなのか。今一度、信奉者、布教者が教祖様の頃の原点にもどるような考えが必要ではないだろうか。

一般に今日はお金も物もなくかなる（あるいはありあ

まっている)時代。不自由なことはあまりないと思うことであろうが、信心して助かることはこのこととは違うのではないでしょう。今一度教祖様の時代の「人が助かる布教」で天地のお働きの中心に分が生かされて生きている事実を考え直してみたいと思います。

(横島)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四―四一―三五一
FAX 〇一五四―四一―一三六一

四月新年度を迎えた。教会は新年度といっても何ら変わることはない。お正月の方がずっと、精神的にも改まっている。『天地は語る』第百項にある「信心は日々の改まりが第一である。毎日元日の心で暮らし、…」の理解があるからかも知れない。

が、それでも新年度だなーと思うことに遭遇する。釧路

には、釧路公立大、釧路短大、教育大釧路校があつて、毎年一々二家族が本人を伴つて教会を訪ねてきたりする。めつきり少なくなつたが、「ぴかぴかの一年生」が家族と共にお礼参拝したりする。ご家族の胸のふくらみが伝わつてきて何とも頼もしい想いをするのが新年度である。

そういえば、もう十年以上も前になるが、それまで毎年『勸学祭』を奉仕していた。毎年参拝者が増えていて二十人を超え、祭典後にゲームなどして遊び、お祝い品を渡していた。その年は五十人を超えた。お土産が不足して後で届ける約束にしてお土産は届けた。しかし、翌年の勸学祭には誰も参拝しなかった。文字通り「後のまつり」になった。

それから勸学祭を中止したが、十年一昔のたとえのごとく、地道に努力すること

の大切さを思い知らされていく。また、ぼつぼつ取り組んでいく気力を願っている。

(江郷)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七―二一―三三三
FAX 〇一五五七―二一―四二二三

早いもので今年も十勝川に雪代のおふれる季節となりました。十勝の今冬は雪も少なく例年になく春も早いかと観望していましたが、先月末の大雪、どうして自然はきちんと帳尻を合わせてくれるもの

です。今年は大正九年に教会が設立されてから八十六年にあたり、また初代教会長玉置藤太先生が大正十五年に亡くなられてから八十年の年にあたります。初代先生は教会設立からわずかわずか六年で帰幽されたことになりました。人の一生のうちわずか六年という時間がどれほどの大きさをもつ

のか、その時間でいいたい何ができるのか改めて考えさせられます。六年という限られた時間ではありましたが、初代先生が残された「親神様の恩に応える、神願に応える」活動は十勝のみならず夕張をはじめ道内各地へ伝わっていました。いまご用に当たらせていただいているわれわれは、果たして初代先生の六年間の内容に追いついているのでしょうか。改めて「神恩・神願に応える」活動をさせていただきます。おねねと思わせていただきます。

(玉置)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五二―四三―三九五四
FAX 〇一五二―四三―三九五四

昨年、十二月二五日、総代の新谷泰造さんがご帰幽になりました。

当教会は私が知るだけでも過去において三度の教会存続の危機がありました。そうし

た危機に際し、新谷さんの実意な信心の有り様は多くの信奉者の支えともなり、その影響は大なるものがありました。

故に新谷さんのご帰幽は信奉者にとっても大きな痛手となりました。そうした雰囲気の中に数名の方の「新谷さんが亡くなつて教会がだめになったと言われぬように共に頑張りましょう。」との声はどれほどありがたいことかわかりません。

教会の行く末、後に残された信者さんの信心の行く末を案じておられた新谷さんも、御霊としてどれ程この声を喜んでくださっていることだろうかと思わされます。
これから先、神様、御霊様の願いを受けて一人でも多くの方に喜んでもらえる教会作りを信者さんと共に求めて参りたいと願っています。

(菊川)

平成十八年度 道東地区教会連合会総会

(報告)

平成十八年度の連合会総会が左記のとおり行われました。

総会では昨年度事業、収支報告、今年度事業計画、収支案についての審議が行われ全件について了承されました。

記

日時

平成十八年三月二十六日

会場 阿寒ビューホテル

出席者 十八名

主な内容

平成十七年度事業報告 収支報告

平成十八年度事業計画案 収支案

教区行事について

以上

金光教北海道教務センター編
「いのちの立ち行き」

高橋行地郎著

八〇〇円

第6回道東地区教会連合会 交流パークゴルフ大会

日時 7月2日(日) 10時

会場 清見ヶ丘パークゴルフ場
(池田町清見ヶ丘)

当番 十勝教会

詳細は後日ご案内いたします。

道東地区教会連合会研修会

道東地区「あいよかけよのつどい」

日時 6月17日(土) 14時

～18日(日) 15時

会場 網走教会

内容 研修①「よりよい教会をめざして」
研修②「あいよかけよのつどい」

誰でも気軽に参加できる懇談会形式の研修会です。詳細は後日ご案内いたします。

平成18年度道東地区各教会大祭日程

春大祭

秋大祭

釧路	5月28日(日)	10月22日(日)
北見	5月3日(水)	10月15日(日)
十勝	4月16日(日)	11月19日(日)
帯広	4月23日(日)	11月5日(日)
網走	5月21日(日)	10月29日(日)
滝上		

道東地区青年交流会

月日 7月15日(土)～16日(日)

会場 釧路市山花オートキャンプ場
道東地区在住の青年信奉者対象の懇親交流会です。詳細は後日ご案内いたします。

北見教会布教90年記念祭
10月15日(日) 14時